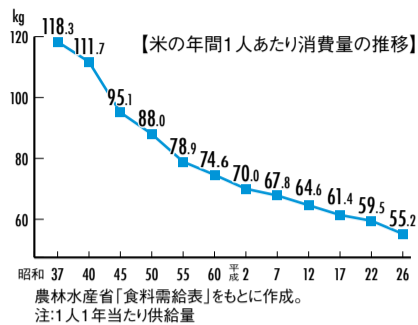


ごはん食のすすめ かまどで「ごはん塾」開催

米の1人あたりの年間消費量が、昭和37年度をピークに、減少に歯止めがきかない。食物アレルギーの増加も問題視される中、兵庫県学校給食・食育支援センターは、米食を中心とした日本型食生活の大切さを伝えるために2009年度から「ごはん塾」を県内の小学校で開催している。



った。炊きたてのご飯を食べた児童たちは「いつもよりモチモチしてる」とおかわりし、ごはんのおいしさを再発見したようだ。



釜は重く、薪は堅い。火を起こせば煙のにおいにお鼻をつまみ、ごはんが炊き上がってくると香りで気づく。五感を使った学習体験。

かまど炊飯体験で食の大切さを学ぶ

かまど炊飯体験と試食や、保護者対象の食育講義を行い、ごはん食の素晴らしさを学ぶごはん塾。今年度は県下の小中学校7カ所で実施される。9月に第1回目が芦屋市の精道小学校で実施された。3年生が火おこしや薪割り、米研ぎなどを行い、かまど炊飯を楽しく体験。給食時の試食では、羽釜の蓋を開けた瞬間に歓声が上がる。



子どもの成長に関わる食を見直すきっかけに

別室では、保護者に向けて神戸大学名誉教授の保田茂先生による講義が行われた。保田先生は、アレルギーのほか鬱病や引きこもりが急増していることに触れ、その原因が、腸内の乳酸菌によって作られる脳内物質の減少にあると説明。乳酸菌を増やす米



兵庫農漁村社会研究所理事長 神戸大学名誉教授 保田茂先生

上)「3、2、1」とカウントダウンし、蓋が開くと「うわあ〜」と歓声が。下)「おこげちょうだい〜」とおかわりの列ができた。汗をかいて自分たちで炊き上げたごはんは格別!

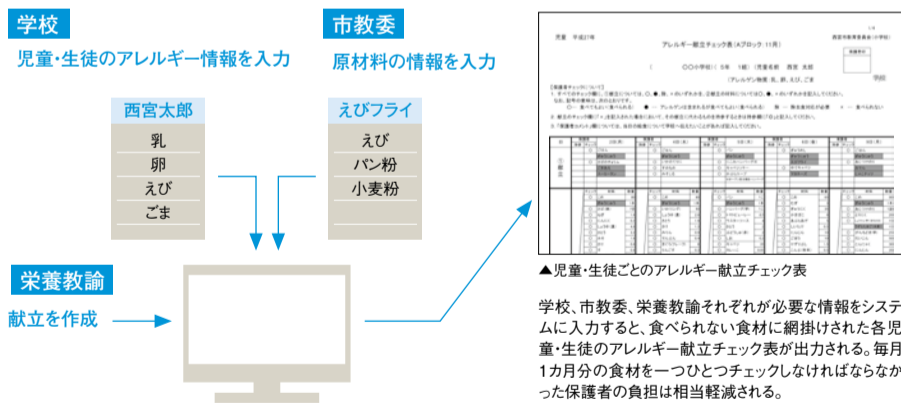
や野菜、豆類や魚などの和食の重要性を説いた。また、食への関心と自立心を養うため、子どもの家事分担の有効性を提案。「食事と子どもの幸せには深い関係があることを少しでも知ってほしい」と話す。保護者からは「和食が理にかなった食事だと分かった」「早速今日から家事分担させます」という前向きな声が聞かれた。

食物アレルギーから子どもたちを守る 給食のアレルギー自動チェックシステム導入

西宮市教育委員会では、学校給食において、児童・生徒ごとのアレルギーを含んだ献立がひと目で見分けのつくシステムを開発した。10月から一部の小中学校で、現行の手書きのリストと並行して試験運用を始めている。思い込みや見落としなどからくる事故を防ぎ、保護者や教職員の負担軽減を図るためだ。現在は、保護者が毎月、一覧表をもとに加工食品を含め

たすべての食材についてアレルゲンの有無を確認し、献立チェック表に「○」や「×」などを記入して学校へ提出。学校は、提出された献立チェック表に記入漏れなどがなければ確認したうえで給食を出している。今後はシステムの調整を図り、来年度中に市内全ての小中学校と特別支援学校への導入を目指すという。

西宮市の給食献立アレルギー自動チェックシステムの仕組み



芦屋市ふるさと納税の返礼品に「傾聴」が加わる

芦屋市のふるさと納税の返礼品は芦屋ブランドを活かした食材が中心だが、シルバー人材センター「傾聴グループはつらつコール」のメンバーが取り組む「傾聴」が今春から加わることとなった。「傾聴」とは相手が話したいこと、伝えたいことを真摯に「聴く」行為や技法のこと。ボランティアとして全国でも行われているが、事業として活動しているのは芦屋市だけ。そこで「傾聴をサービスには」という声から導入が決まった。無形のサー

ビスが返礼品に導入される例は他の市町村にも無く、全国的にも珍しい取り組みのようだ。納税額によりサービス時間が変わり、3万円で1時間が2回、5万円で2時間が2回となる。

同グループは60〜80代のメンバーが20人以上が所属。「高齢者が高齢者を支える」をコンセプトに、研修やテストをクリアしたプロが自宅や介護施設を訪れ、高齢者の話に耳を傾けている。返礼品に加わったことで「傾聴」の注目が上がり、「メンバーに参加したい」という問合せも増えたという。返礼品としての依頼はまだ無いが、今後の動向に注目していきたい。

【問い合わせ】
傾聴グループはつらつコール
0797-32-1414



話し手、聞き手、第三者に分かれて行うロールプレイ研修。この日の設定は「60代女性が話す夫の愚痴」について。一通り終わった後はそれぞれの目線から意見を交換を行う。

神戸市「Yahoo! 防災速報」アプリで配信開始

神戸市は、「ヤフー株式会社」と災害協定を結び、同社が提供するアプリ「Yahoo! 防災速報」内の『自治体からの緊急情報』への配信を11月から開始した。アプリをダウンロードするか、メールアドレスを登録すると、神戸市の防災緊急情報が受信できる。配信内容は、避難準備情報や避難勧告の発令・解除、避難所情報や台風接近時の注意喚起、防災訓練のお知らせなどだ。県下では他に豊岡市と播磨町

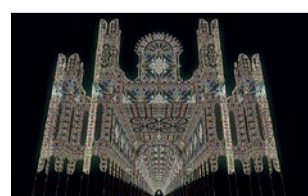
が配信を開始した(11月10日現在)。

アプリをダウンロードし、位置情報などを入れると行政からの「お知らせ」が表示される。



神戸ルミナリエ今年も開催 会場で100円募金の協力を呼びかけ

神戸ルミナリエ組織委員会は10月17日、昨年の「第21回ルミナリエ」の決算が2,000万円の黒字になったと発表した。警備費の削減、日数とコースを短縮したことで実現した数字だ。今年度の繰越し金にあて、同委員会事務局は今年度の開催を決定した。しかし今年度の財政は厳しく、会場での「一人100円」募金の呼びかけを積極的に行うと発表した。期間は12月2日(金)〜11日(日)と昨年に続き10日間の開催。テーマは「光の叙情詩」とした。



©Kobe Luminarie O.C.

点灯時間：月曜〜木曜 18時頃〜21時半
金曜 18時頃〜22時 土曜 17時頃〜22時
日曜 17時頃〜21時半
※混雑状況により、点灯時間は繰り上げられることがある。
※土日は混雑が予想されるので、平日がおすすめ。
※荒天時は、点灯を見合わせる場合もある。
開催場所:旧外国人居留地および東遊園地